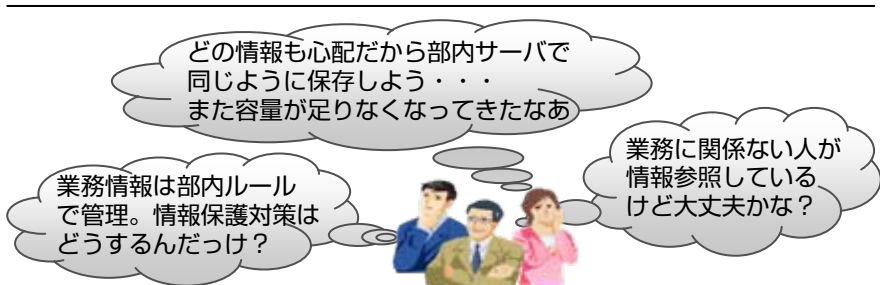


セキュア・コンテンツ管理コンサルティング ～セキュリティリスクを軽減する情報管理～

企業内情報の増加と分散管理による情報セキュリティリスクの増大

企業内情報の急激な増大とデータ種類の多様化により、社内保有情報の全社組織的な管理が困難になっています。情報の管理ルールやツールが各部門に任されてることも多く、全社的な管理が行き届かない現状で、セキュリティリスクが高まっています。

現状



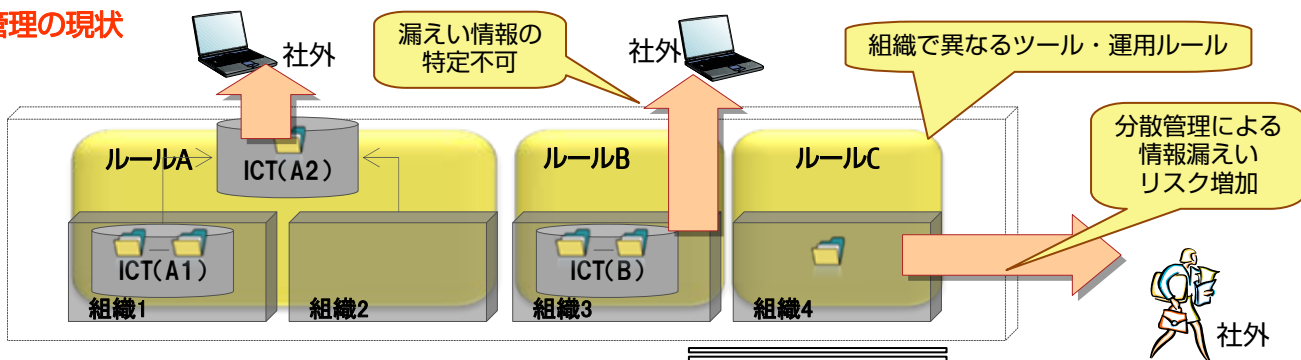
企業におけるセキュリティリスク

- 漏えい対策そのものがない
- 情報が漏えいしたことに気づかない
- 漏えいした情報が特定できない
- 情報漏えい箇所が増加する

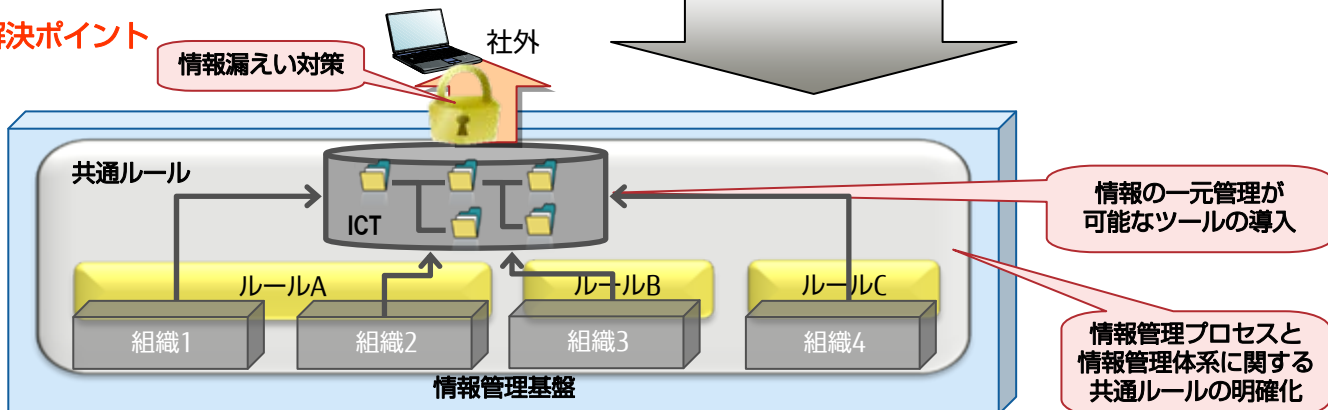
情報管理の現状と課題解決ポイント ～共通ルール整備と一元管理環境で強固な情報管理基盤を構築～

各部門での分散管理や個別ルールでの運用は、統一したセキュリティ対策が困難になり、情報漏えい箇所が増大する原因となります。また、社内の情報共有や業務効率化の阻害要因ともなります。情報の重要度にあわせて適切な管理ができるように共通管理ルールを整備するとともに、最適なツールで、より強固なセキュリティ対策を実現できるようにします。

情報管理の現状



課題解決ポイント



サービス概要および進め方

富士通総研では、情報管理ルール（情報の重要度の定義、アクセス権限の設定、保管場所の明確化など）の見直しと、ツール検討・導入支援、企業内への定着までをサポートします。

サービス概要

■ 情報管理ルールの見直し支援

現状の情報管理体制、情報の量や種類、情報の管理ルールに関する課題を抽出します。これをもとに、貴社に則した基本方針・規程・ルールを整備し、教育により定着化を支援します。

■ ツール導入支援

策定した基本方針等をもとに、貴社保有情報の一元管理が可能なツールを選定し、導入を支援します。

実施効果

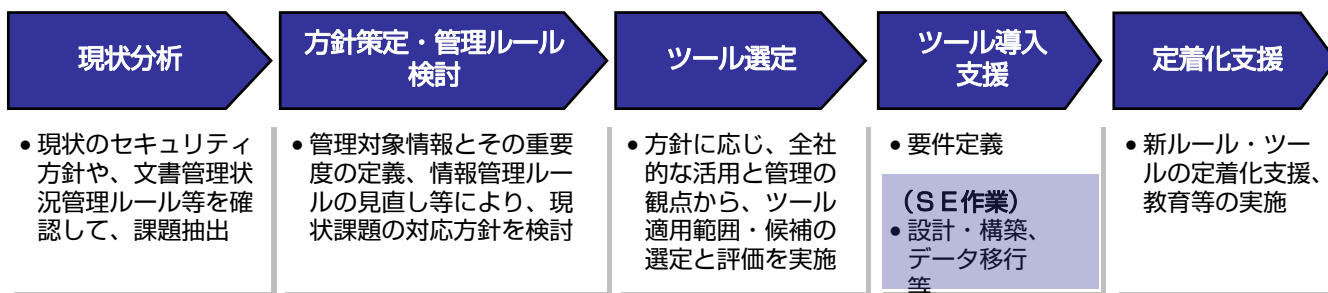
■ 情報管理基盤の構築の実現

- ✓ 管理できていなかった情報も含め、保有情報を一元管理することでセキュリティリスクを軽減
- ✓ 業務に付随する情報を関連づけ、適切なルールを定義し、保有情報に対する統制を強化することで、セキュリティリスクを軽減

■ その他

- ✓ 企業内の情報セキュリティ対策に対する意識が向上
- ✓ 現状分析時に実施する情報の洗い出しの結果は、ISMSおよびPマーク監査で貴社の保有情報を監査人に提示する際に流用可能

進め方



事例

独立行政法人様事例

情報セキュリティおよび個人情報保護に関する規程類の整備を支援

情報セキュリティと個人情報の管理対象・ルール等の現状を調査

不足している手順書を策定するとともに、変更箇所に関する教育を実施

■情報の洗い出し・特定～文書化 2010年1月～3月
 ■教育 2010年4月～5月

概算費用

ご支援内容	作業期間	ご参考価格
現状分析～方針策定・ルール策定	3ヶ月	700万円より
教育（教育資料を作成し、3回で50名に対して実施）	2ヶ月	300万円より

このカタログに掲載されている内容については、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2011年8月

お問い合わせ先

株式会社富士通総研

第二コンサルティング本部 コーポレート基盤事業部

〒105-0022 東京都港区海岸 1-16-1 ニューピア竹芝 サウスタワー11階 TEL:03-5401-8431

E-mail : fri-ecm-req@cs.jp.fujitsu.com